

迎古夢旅 4644 : カナダ横断・PEI・赤毛のアン P101

突然の割り込み、ご容赦。

2020年9月13日（日曜日）午後11時からのNHK番組

「アンという名の少女」を偶然拝見。赤毛のアンが思い浮かんだ。

頑張れという、深い思いがある。番組の2回目には、追い返されずに、養子になる。

結果を知っているのだから、安心だが、最初は、ハラハラしたものである。

プリンス・エドワード島（PEI）を、**3度**訪ねている。

昔の話になるが、**最初は3泊**だった。**橋はなく**、フェリーでの訪問。

PEIハンプトン泊、PEIキャビンディッシュ泊、PEIシャーロットタウン泊。

この番組の原作はモンゴメリーの名作「赤毛のアン」。現地での**舞台**からも元気もらった。



この少女は、赤毛のアンの舞台の宣伝のために、街を散策中、

写真をお願いしたら、快く、OKしてくれた。

その他、いろいろ広報活動に熱心で、下記のショットも、出演者たち。

島での滞在だけでなく、物語そのものが大好きなので、いい思い出、心の財産になった。

そんな事情もあって、いろいろ、思い浮かんだ次第。

そうなるなら、またの機会にではなく、即実践。割り込んだ次第。

NHKの番組紹介では、おしゃべり好きで、想像力豊かなやせっぽちの

赤毛の少女アンは、**楽しいことを見つける天才**。
年老いた兄妹の養子となった孤児のアンが、**いろんな悩みを抱えながらも、まっすぐに、立ち向かい成長して行く姿を描く**、全8回の番組らしい。楽しみである。



物語は、19世紀後半のカナダ。自然あふれるプリンス・エドワード島に、やせっぽちでそばかすだらけの赤毛の女の子アンがやってくる。孤児のアンは、「**グリーン・ゲイブルズ**」と呼ばれる家に住む年配の兄妹マシューとマリラの**養子になると決まって大喜びだったが、実は2人が望んでいたのは男の子だったと知ってがっかり**。

でも、なんとか無事に家族として一緒に暮らせることになり、村で初めての親友ができたり、学校に通ったりして、**いろんな経験を重ねて成長**していく。おしゃべり好きで、想像力豊かなアンは、**いつも自分の心にまっすぐで、どんなにつらいことがあってもくじけない**。

そんなアンと出会い、**村の人たちも少しずつ変わっていく**。
NHK、どのような演出、物語を展開させるのか、私自身、大変楽しみにしている。